



图书基本信息



内容概要



作者简介



书籍目录

第1章 加賀掾の浄瑠璃芸論（宇治加賀掾の浄瑠璃芸論『竹子集』序文と『塵芥抄』系謡伝書 進藤以三著『筆の次』との関わりを中心に；宇治加賀掾と音曲道歌 『謡之秘書』との関わりをめぐって ほか）

第2章 浄瑠璃の謡曲本文撰取（能「正儀世守」周辺 古浄瑠璃「十六夜物語」と妙庵玄又手沢五番綴謡本「正儀世守」との関わりについて；近松と加賀掾の「道成寺物」 浄瑠璃作者が引用した謡曲本文の系統をめぐって ほか）

第3章 加賀掾の技法論（“ヲクリ”について “打切”との関連をめぐって；“色”について 謡の“色”からの影響を中心に ほか）

第4章 義太夫節周辺の浄瑠璃諸派（“カゝル”考 土佐節正本を中心に；土佐節譜本の研究 周辺芸能との比較を通して ほか）



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>